

フィリップス・コレクションによるアメリカン・モダンの旗手たち
マリン・ハートリー、ダヴ、オキーフ、スティール・グリッツ



主催：千葉市美術館、フィリップス・コレクション、美術館連絡協議会、読売新聞社

後援：外務省、文化庁、アメリカ大使館 協賛：花王株式会社 協力：日本航空株式会社、東京海上火災保険株式会社

休館日：月曜日〔9月16日（月）開館、17日（火）休館、23日（月）開館〕開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）毎週金曜日は午後8時まで（入場は午後7時30分まで）

入場料：一般800円（640円）大学・高校生560円（450円）中・小学生240円（200円）（ ）内は団体（30名以上）料金 ●ハローダイヤル 043-227-8600

In the American Grain

Dove, Hartley, Marin, O'Keeffe, and Stieglitz

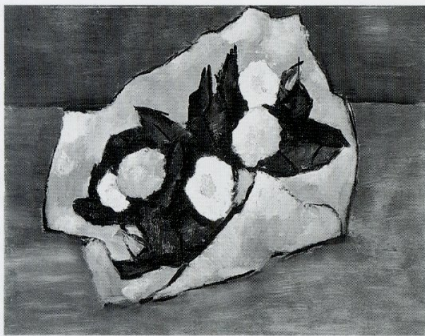
The Stieglitz Circle at The Phillips Collection

千葉市美術館 1996年8月24日（土）→9月23日（月・祝）

This exhibition was organized by The Phillips Collection, Washington, D.C. through generous support from the John S. and James L. Knight Foundation, Sotheby's, and the National Endowment for the Arts.



ジョン・マリン《ベア山近くのハドソン川》1925年
John Marin, Hudson River Near Bear Mountain, 1925



マーズデン・ハートリー《野ばら》1942年
Marsden Hartley, Wild Roses, 1942



アーサー・ダヴ《私と月と》1937年
Arthur Dove, Me and the Moon, 1937



アルフレッド・スティーグリッツ《イキヴァレント(等価)》1930年
Alfred Stieglitz, Equivalent, 1930

アメリカを代表する写真家アルフレッド・スティーグリッツは、一九〇五年ニューヨークに「ギャラリー291」を開設して以来、ヨーロッパやアメリカの前衛美術を一般に紹介し続けました。

一九二〇年代になると、彼はヨーロッパ美術の紹介よりも、アメリカ独自の絵画の育成を使命と考えるようになります。アーサー・ダヴ、マーズデン・ハートリー、ジョン・マリン、ジョージア・オキーフら、ヨーロッパの前衛の模倣に留まらない独創的なアメリカの才能を生涯にわたり支援しました。ワシントンの資産家ダンカン・フィリップスは、スティーグリッツの信念に共鳴し、多くのアメリカ人がまだその価値をほとんど認識できなかった頃から、スティーグリッツ一派の作品を購入。フランス近代絵画の巨匠たちの作品と共に、自らの美術館（現在のフィリップス・コレクション）に展示したのです。

今回の展覧会は、フィリップス・コレクションから選んだスティーグリッツ自身と四人の画家たちの作品七六点によって構成されます。抽象表現以降のアメリカ美術に多大な影響を与えたスティーグリッツ一派の作品を、初めてまとった形で紹介いたします。

千葉市美術館

〒260 千葉市中央区中央3-10-8
Telephone: 043-221-2311

JR東日本千葉駅利用

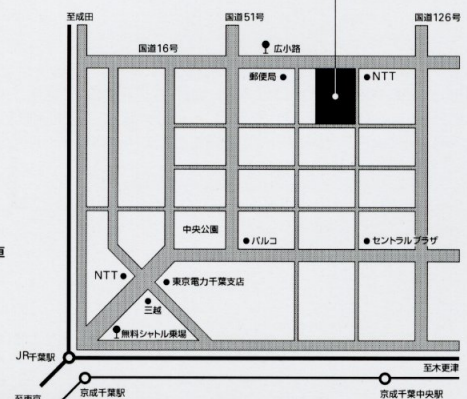
- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行「大和橋」下車徒歩1分
- 小湊バス姉崎行「広小路」下車徒歩1分
- 無料巡回シャトルバス「チーバス」「中央区役所・美術館前」下車
→19番乗場から11:00-18:00
毎時05分と35分に発車（水曜日運休）

京成電鉄千葉中央駅利用

- 東口より徒歩約10分

※来館者用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

千葉市美術館



● 講演会のご案内

演題：「スティーグリッツとその時代」

講師：末永照和氏（美術評論家・実践女子大学教授）

日時：8月25日（日）午後2時より

場所：千葉市美術館11階講堂 ※先着順に150名まで受付

● ギャラリートーク

日時：9月1日（日）/16日（月・休）いずれも午後2時より

場所：8階展示室前にて受付

表：

ジョージア・オキーフ《葉のかたち》1923年頃
Georgia O'Keeffe, Pattern of Leaves, Ca. 1923